

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）J. S. O' will, Inc. 除外 0社 （社名）

（注）当四半期連結累計期間における、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無であります。
詳細は添付資料P.3 「当四半期累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	3,150,000株	26年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	211株	26年3月期	180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	3,149,811株	26年3月期3Q	3,149,864株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に株価の上昇や円安基調が進み、企業収益や雇用情勢が改善される等、景気は緩やかながらも回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界経済の減速や輸入品価格の上昇による個人消費の回復の遅れ等の下振れ懸念材料もあることから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、国内市場の縮小化や円安による食品原材料の高騰により企業収益は低迷する中、商品ライフサイクルの短期化及び消費の二極化が一層進んでいることから、企業は熾烈な開発競争を繰り広げております。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安定的な原材料・資材の供給体制を維持し、サービスの質の向上に努めるとともに、新規商品の提案や新規取引先の開拓等による拡販に努めてまいりました。また、第1四半期会計期間よりJ.S.O'will, Inc.を連結範囲に含めており、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,925,355千円（前年同期比5.4%増）、営業利益は249,320千円（前年同期比0.6%増）、経常利益は259,743千円（前年同期比7.0%減）、四半期純利益は126,281千円（前年同期比19.9%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、消費税増税の影響は限定的であったものの、盛夏期の天候不順もあり、9月以降に流通在庫が停滞して販売数量が伸び悩む等、経営環境は厳しい状況が続いております。このような状況下、当社グループは取引先のニーズに柔軟に対応すべく、国内外から原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努める一方、品質管理体制の一層の強化を図り、付加価値の高い商品の提供、及びサービスの向上に努めてまいりました。ビタミン類や業務用殺菌乳の販売数量が減少したものの、香料等の食品副原料、ジャスミン茶やウーロン茶、果汁・野菜汁・ピューレ類等の農産物及び同加工品の販売が好調に推移したことから、売上高は21,212,685千円（前年同期比4.9%増）となりました。

<製造販売事業>

安心且つ安全な商品をお客様にお届けするために、品質管理面を一層強化し、取引先に安心して生産委託していただけるよう、製造環境の整備に注力いたしました。夏場の天候不順の影響も少なからずあったものの、新商品開発を積極的に行い拡販に努めたことから、売上高は409,886千円（前年同期比7.9%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、平成25年10月に1店舗を新規出店し、合計5店舗となったことから、売上高は725,244千円（前年同期比11.4%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,551,844千円増加し、8,225,284千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ9,819千円増加し、1,117,184千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,561,663千円増加し、9,342,468千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ979,669千円増加し、6,266,555千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ397,552千円増加し、1,177,371千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,377,222千円増加し、7,443,926千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ184,441千円増加し、1,898,541千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年1月30日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間より、従来は非連結子会社であったJ.S.O'will, Inc. を、重要性が増加したために連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	987,946	2,115,601
受取手形及び売掛金	3,533,173	4,548,708
商品及び製品	900,042	1,162,226
未着商品	852,341	178,872
原材料及び貯蔵品	18,076	19,248
未収入金	322,287	87,777
繰延税金資産	22,359	17,298
その他	41,913	100,750
貸倒引当金	△4,700	△5,200
流動資産合計	6,673,440	8,225,284
固定資産		
有形固定資産	348,213	394,087
無形固定資産	119,376	100,575
投資その他の資産	639,774	622,520
固定資産合計	1,107,364	1,117,184
資産合計	7,780,804	9,342,468
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,727,650	5,325,481
1年内返済予定の長期借入金	302,240	501,496
未払金	1,073,850	259,408
未払法人税等	88,244	5,335
賞与引当金	35,496	21,600
その他	59,403	153,234
流動負債合計	5,286,886	6,266,555
固定負債		
長期借入金	713,267	1,103,746
資産除去債務	5,946	6,020
その他	60,605	67,604
固定負債合計	779,818	1,177,371
負債合計	6,066,704	7,443,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	1,011,435	1,040,889
自己株式	△105	△129
株主資本合計	1,663,105	1,692,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,576	50,003
繰延ヘッジ損益	2,605	6,102
為替換算調整勘定	8,812	43,282
その他の包括利益累計額合計	50,994	99,388
少数株主持分	—	106,618
純資産合計	1,714,100	1,898,541
負債純資産合計	7,780,804	9,342,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,805,136	21,925,355
売上原価	18,993,016	20,013,612
売上総利益	1,812,119	1,911,742
販売費及び一般管理費	1,564,265	1,662,422
営業利益	247,854	249,320
営業外収益		
受取配当金	4,353	5,052
為替差益	20,385	13,412
受取手数料	4,971	4,833
受取補償金	8,033	1,380
保険解約返戻金	3,200	—
その他	2,043	1,484
営業外収益合計	42,986	26,162
営業外費用		
支払利息	9,394	10,195
支払補償費	1,767	4,550
その他	465	993
営業外費用合計	11,627	15,739
経常利益	279,212	259,743
税金等調整前四半期純利益	279,212	259,743
法人税、住民税及び事業税	118,669	95,216
法人税等調整額	2,937	10,489
法人税等合計	121,606	105,706
少数株主損益調整前四半期純利益	157,606	154,037
少数株主利益	—	27,755
四半期純利益	157,606	126,281

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	157,606	154,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,882	10,426
繰延ヘッジ損益	277	3,496
為替換算調整勘定	2,552	38,781
その他の包括利益合計	16,712	52,705
四半期包括利益	174,318	206,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,318	164,120
少数株主に係る四半期包括利益	—	42,622

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,045,320	108,833	20,154,154	650,981	20,805,136	—	20,805,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	172,830	271,100	443,931	—	443,931	△443,931	—
計	20,218,151	379,934	20,598,085	650,981	21,249,067	△443,931	20,805,136
セグメント利益又は 損失(△)	237,726	9,280	247,007	△1,920	245,086	2,768	247,854

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,768千円は、セグメント間取引消去2,768千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,045,011	155,099	21,200,110	725,244	21,925,355	—	21,925,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167,673	254,786	422,460	—	422,460	△422,460	—
計	21,212,685	409,886	21,622,571	725,244	22,347,815	△422,460	21,925,355
セグメント利益又は 損失(△)	247,180	1,855	249,035	△5,857	243,178	6,141	249,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,141千円は、セグメント間取引消去6,141千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。